

第2回 釜石市新庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 平成28年10月28日（金）午後2時30分から午後4時

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 新市庁舎の建設場所について
議案第2号 新市庁舎に求められる機能について

出 席 者 《委 員》

石垣委員、岡道委員、柏舘委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、
佐々木（光）委員、佐々木（耕）委員、柴田委員、畠委員、矢浦委員、山崎委員

《アドバイザー》

南 正昭 岩手大学教授

《事 務 局》

山崎副市長、正木総務企画部長、高橋財政課長、佐藤課長補佐、洞主査、宇都宮主事

協議内容

【委 員】 東部地区避難路整備位置図というのがあり、震災時潮位の浸水ラインというのがあるが、この震災時潮位の浸水ラインというのは何を表しているのか。

【事務局】 東日本大震災の時に浸水したライン。緑のラインは防潮堤とか、グリーンベルトとか、色々な整備が進んでいるがそれらの整備が終了して、同程度の津波が来た時に想定されるラインです。

【委 員】 湾口防波堤があるし、甲子川の水門も出来る。大きな対策のように聞こえるが。

【事務局】 全体的な嵩上げがされるので、東日本大震災と同じくらいの規模の津波がきたときは、ここまでしか来ないという意味のラインです。この線は色々な想定の仕事、シミュレーションがあり、今の状態である程度の防護がされても水が来る線を出しているが、これが絶対の線では無い。

【委 員】 建設場所は前の委員会で天神町の旧釜石小学校跡地が望ましいということが出た。私も基本はその線だと思っている。ただ、「孤立化をしない整備等を条件に」というのがある。これは、市役所が単独で、市役所の日常生活を守る機能を保つことが出来るのが、「孤立化」を防ぐことなのか。

【事務局】 有事のときに孤立化しないということは、両石インターを将来的にはフルにして、両方向に行けるようにしてネットワーク化を十分図りたいという考え方です。それまでは、高速道路の有効活用を図ったなかでのネットワーク化が出来ると考えている。教訓として被災地以外の、中妻の方に接続することは十分に可能と考えられる。

【委 員】 市役所をベースにして、被災された地域に救援を出していく場合のインフラなり、応援の体制なりはどうなのか。東部は雨が降っても冠水して通れなくなる。旧釜石小学校跡地という

ことを決めるにしても、そういった条件をどうクリアしていくのか。三陸道の活用ということであるが不確定である。

【事務局】電力、その他のインフラについては、自家発電を含めての対応策を今後まとめていく。

【委員】懇話会に参加したが、孤立しない庁舎をという点は絶対これは守ってもらう。市としてもそれを条件として考えるはず。庁舎の検討委員会というのは、立地と場所と機能だけではなく、震災から得られた教訓を生かし防災拠点としての機能を重視するために、何をしたらいいのか。これらを整理するための委員会と思っている。

【委員長】場所の件については、震災前から委員会を開いて長い間の課題でした。小学校跡地にという結論になっている。皆様、ご異議なければこれを認めて頂きたいと思います。宜しいでしょうか。

【委員】ここで建設場所の結論を出すのであればもう少し質問なりがあってしかるべきでないか。

【事務局】市庁舎の建設場所は庁舎建設検討懇話会で、色々な経過を踏まえて天神の方が望ましいという提言を市長の方にして頂いた。それを行政としては大変重く考え、それを前提としながら前進したお話をこの場でして頂きたいと思う。それを前提としながら次のステップで、具体的なお話しに入りたい。

【委員】市役所の建設の要素の一つに、各官公署と連携を取りやすい地区が必要では。

【委員】総合庁舎をここにつくって、教育庁舎と保健庁舎は空家にするのか。壊して駐車場にするのか。ここに建てただけじゃなく、どのような形で利用していくのか。もっと大きな目で見えた進め方というのを提示していく中で、やはり一番は東部地区のここですということを丁寧に議論しなければならない。

【事務局】市庁舎と他の官公署との連携は3.11の教訓で、釜石市役所自体、或は他のところも含めて停電等、インフラが壊れて連携出来なかったとは事実です。その事態をまた起こさないような対策をするという事です。消防署と、庁舎をこちらの方に作る事によって、リスクの分散を図るということを決めた。連携自体についても、天神町に作る事によって、新たなネットワーク化を図ることは十分にお応え出来ると思っている。

【委員長】釜石は用地的に狭いので、苦慮した経緯がありました。行政が持っている用地で、尚且つ、今回の震災で浸水区域に入らなかつた場所がいいのではないのかという結論に達したと思っている。今まで出てきた議論のなかで、何かご質問がありましたら仰って下さい。

【委員】場所的にも、ここだけの話じゃない。甲子側も含めた全部の話なので、この東部地区というのはその中間であるので、場所としては天神でいいのではないかなと思う。

【委員】提言のなかで復興が第一というのがあって、委員会としては天神町の跡地ということ。色々な苦労をされて検討してきた中で、やはり早く決めないと、ますます遅くなっていくと思うので、早急に決めたほうがいいと思う。

【委員】役所が古いとか、不便であるとか、そういうマイナスのことが沢山あり、トイレの問題も含めてですが、色々散らばっているという事も含めて、方向性というのはしっかりと見出して

いる。私は、前に進んでもらいたいと思うし、私たちの目が黒いうちに、しっかりと庁舎を作って行かないと。後世に伝えていく役目を私たちは担って行きたいと思っているので是非決めて頂ければと思っている。

【委員】市役所の新庁舎を天神町に建設することに賛成です。市役所が老朽化して、市、行政も大変です。側に学校の跡地が、買わなくていい土地がある。色々クリアした中で、ベストではないけども、ベターという感じでここに作って、後は足りない所は知恵を絞っていけるんじゃないかと。日程の有る中できちんと決めて、進めてもらいたい。

【委員】分庁舎でなく一体型庁舎とする。ものすごく大きなことが書いてある。市役所職員、或は当局の考え方か。具体に入る前に、規模を決めないといけない。人口何万、市役所職員何人。何年後に人口が減り、教育委員会庁舎、保健福祉部庁舎をどのように統合するか。もし統合すれば、どのように利活用するのか。それについてもお金かかる訳です。

【事務局】庁内での方向性については、ある程度議論している。総合庁舎にしてワンストップ化を図り、市民サービスを最優先にするという前提でこれを作っている。それらを踏まえて、教育委員会、保健福祉センター庁舎がこういう形になるということを議論したい。あとは何を壊してとか、改めて次の会議でお話ししたい。

【アドバイザー】この釜石市役所に、どんな特徴づけをするのかという事だと思う。今後釜石のシンボルとしての役割を果たすということを考えて欲しい。50年使う建物なので、大事なこと。具体的には、エントランス、入ったところを非常に広くとるとか、鉾山、いわゆる鉄の歴史が分かる物とか、デザイン的な物になる。或は花を植えられるようなスペースを意識的にとって置く。また、災害対策室、これは震災の後なので、特徴を見せなきゃいけない。それを意識的に明確にして、常日頃から訓練出来るような用意しておく。釜石市の最後の合意形成が得られるのは議会ということになるが、議会エリアのところに、空間を持たせることを意識して、そうした意味での将来50年を視野に入れた市役所作りを申し上げたい。

【委員長】今まで出ました貴重なご意見を事務局で整理するので、市民の方々に納得されるために皆様のご意見を集約していきたいと思うので、これからもよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。